

御坊市橋梁長寿命化修繕計画

背景・目的

- 御坊市が道路法に基づいて管理すべき橋梁は、現在約200橋近くあり、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は約45%を占めています。25年後にはこの割合が約80%にのぼり、急速に高齢化橋梁が増大します。
- このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取組みが不可欠になります。
- 御坊市では、以下の目的のもとに長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の維持管理を行っていきます。

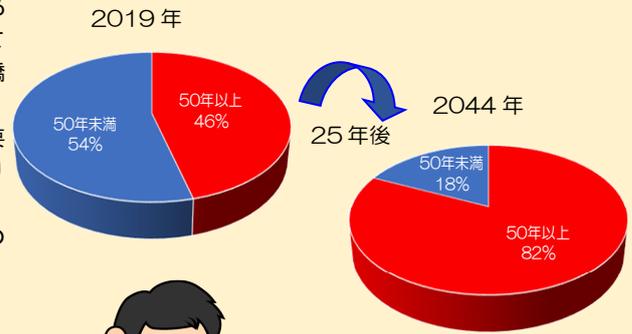
① 安全で安心できる道路橋の確保

今後高齢化の進む橋梁の安全性を確保し、安心して利用できる道路ネットワークを確保します。

② コスト縮減、必要予算の戦略的適正化

これまでの事後保全的な対策から、計画的かつ予防的な対策への転換を図り、橋梁の長寿命化修繕計画に基づいた対策によるコスト縮減を図ります。さらに、橋梁の長寿命化に必要な予算を実現可能な規模に適正化したうえで、長寿命化修繕計画を策定します。

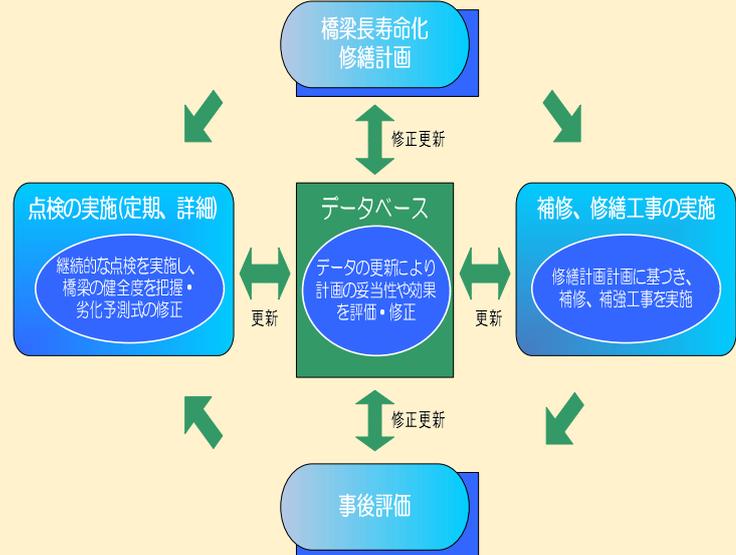
高齢化橋梁の分布の推移



『対処療法型』から『予防保全型』へ
早期発見・早期治療と同じ

橋梁の維持管理体制

- 御坊市では、右図のような維持管理体制を構築し、橋梁の長寿命化及び維持管理コストの縮減に向けて取り組んでいます。
- 橋梁点検では、日常的なパトロールに加えて、5年に一度の定期点検を行うことにより、損傷を把握するとともに、より詳細な点検の必要性を判定します。
- これらの点検データはデジタルデータとして登録し、データの蓄積を行います。
- 登録されたデータのシミュレーション機能を活用して、予防保全の推進、戦略的な長寿命化修繕計画を策定します。
- 長寿命化修繕計画に基づいた補修や補強の対策を着実に実施することにより、安全で安心できる道路橋を確保していきます。
- この維持管理体制のサイクルを持続させ、適切な維持管理を実践します。



長寿命化修繕計画

- 御坊市では平成30年度に、道路法に基づいて管理すべき橋梁について長寿命化修繕計画を策定しました。
- 今後は、長寿命化修繕計画に基づいて、定期的な橋梁点検や補修対策を着実に行うとともに、その結果を反映させて長寿命化修繕計画の見直しや更新を継続的に行います。
- 長寿命化修繕計画による予防保全を行うことにより、従来の長寿命化修繕計画を策定しない事後保全に比べて大幅なコスト縮減が可能になります。

長寿命化修繕計画を策定しない従来の維持管理（事後保全）

コスト縮減効果
長寿命化修繕計画による予防保全コスト

ご助言をいただいた学識経験者

長寿命化修繕計画を検討するに当たり、学識経験者の方にご助言をいただいています。

神戸大学大学院 工学研究科市民工学専攻
三木朋広 准教授（工学博士）

長寿命化修繕計画策定部署及び問合せ先

御坊市 産業建設部 都市建設課
〒644-8686 和歌山県御坊市藺 350 番地
TEL 0738-23-5512
FAX 0738-24-1306